

未来開墾！－食べる楽しさ まちのよさ－

高学年3組 虹の輪 9・10月 15時間 附属新潟小学校 教諭 梅津 祐介

1 本単元で目指す姿

他者が地元食材に共感する道筋を描くことを通して、活動の意味を明確にする子ども

具体的には、まちの特色に着目し、自己の在り方と関連付けて考えるという「見方・考え方」を働かせ、多面的・多角的に解釈する力などの資質・能力を発揮して、「新潟の食材を食べることを楽しむ人を一人でも増やすことが、新潟の未来を食で元気にすることにつながると思う」と考える姿。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
		○ まちの特色に着目し、自己の在り方と関連付けて考えるという「見方・考え方」		
総合	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○新潟産の米の特徴に関する知識 (A) ○食べ比べに関する知識 (B)	○新潟産の米に関する情報を適切に収集する力 (A) ○自らの活動を多面的・多角的に解釈する力 (B)	○新潟産の米に関心をもつ態度 (A) ○新潟産の米を食べる楽しさを伝えようと主体的に取り組む態度 (B)	

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力 ・予想される子どもの反応	評価する対象 ◎評価
1 ・ 2		○ サマーセッションを振り返る。	◆ サマーセッションで感じたことは何かと問う。【働き掛け1-①】	☆総合② ・サマーセッションで発表したことで、新潟産の他の食材についても調べたくなった。 ・新潟は米を中心に食が豊かなまちだと感じた。 ・サマーセッションの目的は「新潟の未来を元気に」だったんだね。このことを考えていけばいいんだ。 【学習課題】 「新潟の未来を食で元気にする」ために、どんなことができるか。 ・次の食材はどうしよう。調べてみたら、片山商店という味噌屋さんが、お米五つ星マイスターなんだって。米の話聞くことができるかもしれないね。	◎評価
		○ サマーセッションで感じたことと、サマーセッションの目的とを関連付けて学習課題を設定する。	◆ サマーセッションの本来の目的を提示する。【働き掛け1-②】		
3 ・ 4		○ お米五つ星マイスターの片山さんを訪ねたり、ビデオメッセージを視聴したりする。	◆ お米五つ星マイスターの片山さんの話を聞く場を設定する。【働き掛け2-①】	☆総合③ 新潟市ではコシヒカリをたくさんつくっていますが、同じコシヒカリでもつくられる土地によって特徴の違いが出ます。その特徴の違いを楽しむのも、新しいお米の食べ方かもしれません。自分が住むまちで、お米の特徴の違いを楽しめるって、すごいことだと思います。最近、米の消費量が減ったり、他の地域が新しい品種をつくったりして、新潟市のお米を取り巻く状況は厳しいところがあります。でも、新潟市はお米のまちとして、強くなくちゃいけないです。だから、お米マイスターの私としても、皆さんにお米をたくさん食べてほしいですし、新潟市のお米を食べる楽しさが、どうしたらたくさんの人に伝わるのかを考えてほしいと思っています。	授業の様子
		○ 学習課題を解決する見通しをもつ。	◆ 学習課題「新潟の未来を食で元気にする」を解決する方法を問う。【働き掛け2-②】	・お米の特徴を楽しめるような活動を行うことができれば、新潟の未来を元気にすることにつながるかもしれない。	③新潟産の米に対する関心を高める。
5 ・ 6		○ 新潟産の米を食べる楽しさを実感する。	◆ 3種類の新潟産の米を食べながら指標(硬さ、粘り、甘み)を記録させ、食べ比べをした感想を問う。【働き掛け3】	☆総合①②③ ・米によって甘さや硬さなど、特徴に大きな違いがあるんだね。 ・自分の好みがあっさり、柔らかめの米なんだって分かったよ。 ・米って、こういう楽しみ方があるんだね。これは、新しい食べる楽しさだね。	ワークシート ①②③米の特徴を明らかにするとともに、米を食べる楽しさを見いだしている。
		○ 米を食べ比べしたときの様子を振り返る。 ○ 食べ比べ体験を行うことの意義について考える。 ○ 「新潟の未来を食で元気にする」ことの意味を考える。	◆ 食べ比べをしたときの映像を提示する。【働き掛け4-①】 ◆ 米の食べ比べを他の人に体験してもらうのはどうかと問う。【働き掛け4-②】 ◆ 米の食べ比べ体験を行うことが、「新潟の未来を食で元気にする」ことにつながるのかを問う。【働き掛け4-③】	☆総合①② ・米の特徴の違いがあることがよく分かって、前よりお米に興味湧いた。 ・米を食べることを楽しめれば、他の食材も楽しめる。 ・私たちと一緒に米を食べることを楽しむ人が増えてほしい。 ・新潟の未来を食で元気にするって、食べることを楽しむ人を一人でも増やすことじゃないかな。	授業の様子・ワークシート ①②米の食べ比べ体験してもらうことと、「新潟の未来を食で元気にする」こととのつながりを考える。
8 ・ 9		○ 食べ比べ体験の詳細を決定する。	◆ 食べ比べ体験の詳細について話し合う場を設定する	☆総合①② ・全校児童が来たら大変だから、予約制にしようよ。 ・気に入った米をおにぎりにしてプレゼントしようよ。 ・食べ比べ体験の名前は、「おにぎりレストラン」なんてどうかな。	
		○ 食べ比べ体験の役割分担を決めたり、リハーサルを行ったりする。	◆ 食べ比べ体験の準備を行う場を設定する。	☆総合③ ・品種の特徴をもっとしっかり説明しないとイケないな。 ・食べる楽しさがもっと伝わるように、私たちも楽しそうにした方がいいよね。	授業の様子 ③食べ比べ体験の準備を主体的に進めている。
12 ・ 13		○ 目的を考えながら、食べ比べ体験を運営する。	◆ 食べ比べ体験を開催する場を設定する。	☆総合③ ・食べ比べ体験に参加してくれた皆さんは、私たちの気持ちに共感してくれたらうか。 ・どんなところに楽しさを感じたのか、参加してくれた人にアンケートに答えてもらおう。	授業の様子 ③参加者と積極的にかかわっている。
		○ 発揮した資質・能力を自覚する。	◆ 食べ比べ体験の参加者のアンケート結果を基にした振り返りの場を設定し、今後の活動の展開について問う。【働き掛け5】	☆総合①②③ 食べる楽しさをはっきりさせたことで、食べ比べ体験の成功につながった。それは、自分たちで食べ比べたり、片山さんから話を聞いたりして、米の特徴をつかむことでできたからだと思う。今回のような活動を通して、食べることを楽しむ人が増えれば、私たちの目的である「新潟の未来を食で元気にする」ことにつながる。次は、他の食材についても取り上げてみたいし、実際の食のイベントの様子もみてみたい。	ワークシート